

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は－を記入する。

令和 2年4月1日改訂
土木用 (第3評定者)

別紙-3①

考査項目	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ I.出来形	□出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の5項目以上が該当する。	□出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。	□出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の4(4)項目以上が該当する。	□出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の3(3)項目以上が該当する。	□出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'(b~b')に該当しない。	□出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準や規格値を満足せず、不適合に該当する。
<p>※ばらつきの判断は別紙-4 参照 別紙-3の作成は別紙-5により行う。</p> <p>主たる工種 (1) (2) (3)</p> <p>ばらつき判断の可否 ・ばらつき判断できる ・ばらつき判断できない。(いずれかを○で囲む)</p> <p>ばらつき判定 測定項目名 () 測定値数 (点)・・① 規格値の50%以内の数 (点)・・② ②/①= 割(8割以上が該当) " 80%以内の数 (点)・・③ ③/①= 割(8割以上が該当)</p> <p>ばらつき判定結果 ・50%以内 ・80%以内 ・80%超 (いずれかを○で囲む)</p>						
<p>【評価対象項目】</p> <p>□ 1. 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図表を工夫し、作成されていることが確認できる。</p> <p>□ 2. 不可視部分の出来形が写真・資料等での確に判断できる。</p> <p>□ 3. 自社の管理基準を設定し、適切に管理している。</p> <p>□ 4. 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p>□ 5. 出来形管理図、出来形結果表が漏れなく作成されている。</p> <p>□ 6. □5. を満足し、竣工図及び出来形管理図表が検測値に差違なく、適正に作成されていることが確認できる。</p> <p>□ 7. 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>□ 8. その他 (理由)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確認する管理体系である。</p> <p>④ その他は、1～7以外の項目で特に評価する場合などについて、独自に設定するものとする。</p> </div> <p>注 測定結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価するものとし、()内の評価対象項目数とする。</p>						

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																														
3.出来形及び出来ばえ II.品質	防護柵・標識 区画線等配置工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																														
<p>【評価対象項目】 [防護柵・標識関係]</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響がないよう施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 基礎設置箇所について、地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 防護柵等の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 7. ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 8. ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 9. その他（理由）</p> <p>[区画線関係]</p> <p><input type="checkbox"/> 10. ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 熔融式、高視認性区画線の施工にあたって、設計図書に定められた温度で施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 14. 区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 15. 区画線を消去の場合、表示材（塗料）のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 16. プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 17. 使用材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 18. その他（理由）</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>										ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																																
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																																
	60%未満	b'	c	c	c																																

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。
 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ）
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

別紙-3⑦

考査項目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3.出来形及び出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	防護柵工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 3. 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 4. 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 5. きめ細やかに施工されている。 <input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 	
	標識工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 2. 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 標識板及びその支柱に傷や変色が無い。 <input type="checkbox"/> 4. 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な取り扱いがしやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目以上・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	
	区画線等配置工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 2. 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 3. 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 4. 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目以上・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	
	造園工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 施設構造物の肌、通り及び収まり等仕上げの状態が良い。 <input type="checkbox"/> 2. 路面表層部の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 3. 遊具等の作動が安全でかつ良好に作動する。 <input type="checkbox"/> 4. 維持管理等の配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な景観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	
	下水道工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 管渠の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 3. インバートが滑らかに仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 4. マンホール天端が周辺の表面勾配に合致するように仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 5. 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 6. 全体的な仕上げが良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 	
	港湾築造工事 (海岸築造工事を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 3. 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 構造物等のきめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 6. クラックが無い。(コンクリート工事が含まれる場合) 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 	
	港湾浚渫工事 (地盤改良工事を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。 <input type="checkbox"/> 2. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 3. 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 浚渫及び盛り等土砂が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 5. きめ細やかに施工されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	